

和泉市ため池ハザードマップ（中津池）

【はん濫シミュレーションの条件】

中津池は日頃より水位を下げる等、自然災害に対する対策を講じておりますが、万が一への備えとして、以下の条件により「はん濫シミュレーション」を実施しました。

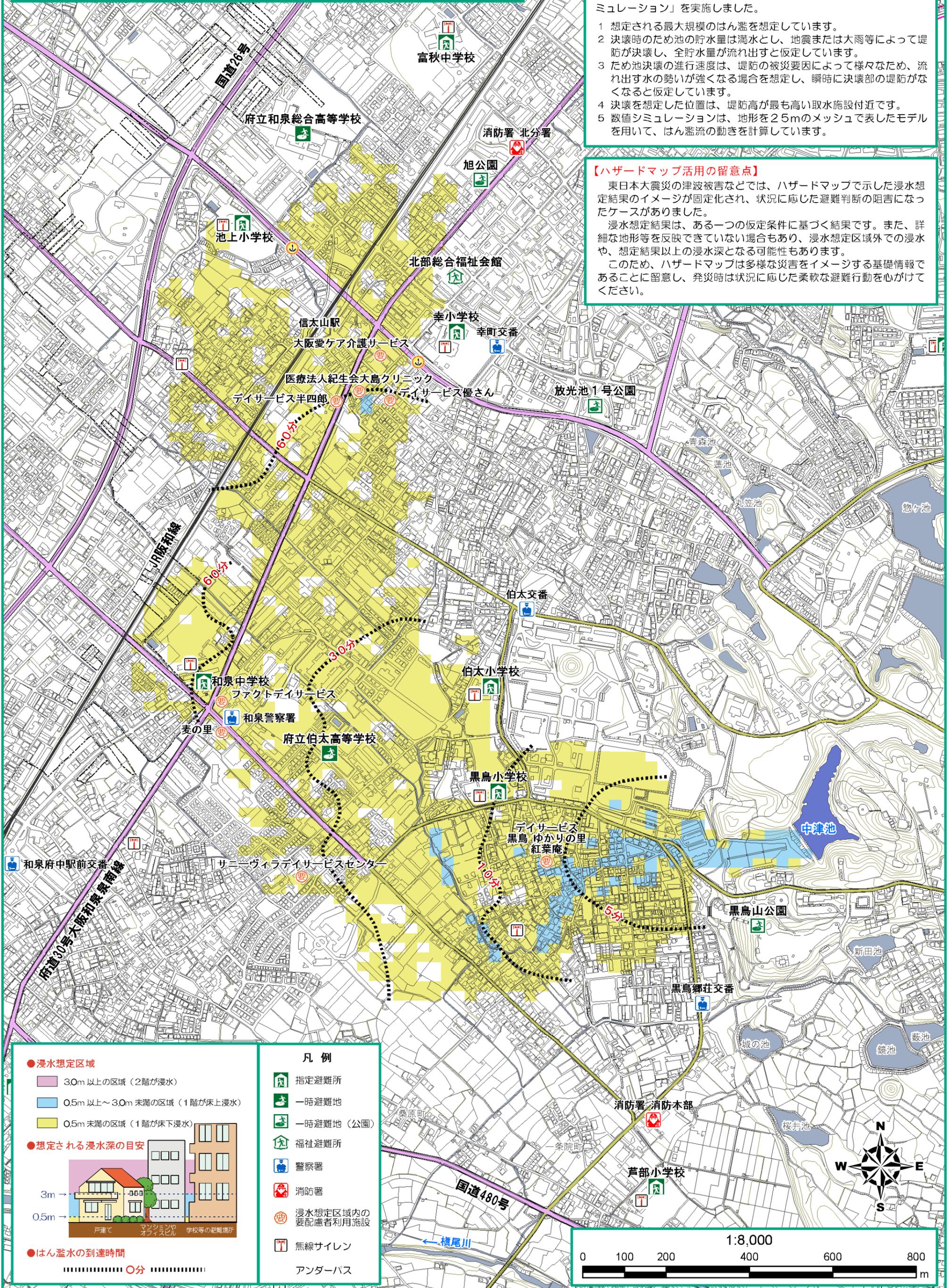
- 1 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- 2 決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- 3 ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- 4 決壊を想定した位置は、堤防高が最も高い取水施設付近です。
- 5 数値シミュレーションは、地形を2.5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。



● 浸水想定区域

- 3.0m以上の区域（2階が浸水）
- 0.5m以上～3.0m未満の区域（1階が床上浸水）
- 0.5m未満の区域（1階が床下浸水）

● 想定される浸水深の目安

3m
0.5m

戸建て
学校等の避難場所

● はん濫水の到達時間

..... 〇分

凡例

- 指定避難所
- 一時避難地
- 一時避難地（公園）
- 福祉避難所
- 警察署
- 消防署
- 浸水想定区域内の要配慮者利用施設
- 無線サイレン
- アンダーパス

